

一般口演 | 広域保健医療・連携医療支援

## 一般口演15

### 広域保健医療・マネジメント

2021年11月20日(土) 14:10 ～ 16:10 H会場 (2号館3階234)

#### [3-H-2-07] 医療情報技師資格から見た病院の経営情報マネジメント

\*石田 円<sup>1</sup>、荒井 耕<sup>2</sup> (1. 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部, 2. 一橋大学大学院 経営管理研究科)

\*Madoka Ishida<sup>1</sup>, Ko Arai<sup>2</sup> (1. 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部, 2. 一橋大学大学院 経営管理研究科)

キーワード: Healthcare Information Technologist, Information Management, Hospital Administration

【目的】病院の経営情報マネジメントで医療情報技師を含む場合の組織的特徴を明らかにする。

【方法】2020年8-9月実施の病院経営医療法人（事業規模10億円以上）を対象にしたアンケート調査結果より、医療情報技師資格あり標本を抽出し、組織規模、病床種類、組織体制、人材スキル、情報システムの各項目の全体との比較分析を行った。

【結果】医療情報技師ありは181件中24件（13%）、組織規模は平均病床数164床（中央値115床）、平均従業員数335人（中央値230人）、平均事務員数41人（中央値28人）で、全体平均と病床規模は同程度だが従業員数・事務員数が多い。病床種類は一般型8施設、ケアミックス10施設、療養型3施設、精神型なし、他種類不明3施設であった。24件全て経営情報の担当部門があり、部門関与数は平均4.6（全体平均3.7）であった。人材スキルは「診療情報管理士」18件が最も多く、「経理・財務」17件、「簿記」15件、「事務長」14件、「医療・福祉系国家資格」12件、「部門長」10件、平均スキル数4.8個（全体平均2.8個）であった。情報システムは「EMR・OSあり」21件（88%）、「DB・DWHあり」12件（50%）、「BIあり」9件（38%）、「GWあり」23件（98%）、導入時期は最古でEMR・OS 2003年、DB・DWH 1995年、BI 2006年、GW 2003年であった。

【考察】医療情報技師を含む組織は、経営情報マネジメントの担当部門の設置があり、組織規模に対し人員や情報システム整備が進んでいる。また人材スキルは情報スキルに加え会計、医療、マネジメントスキルなど複数スキル、多部門連携に対応する体制が推察された。

【結語】医療情報技師資格から見た経営情報マネジメントは、情報システム管理を前提とし、多部門連携を背景とする複数スキルによる組織的な活動である。

# 医療情報技師資格から見た病院の経営情報マネジメント

石田 円<sup>\*1</sup>、荒井 耕<sup>\*2</sup>

\*1 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、\*2 一橋大学大学院 経営管理研究科

## Information Management of Business Administration in Hospitals from the Perspective of Healthcare Information Technologist Certification

Madoka Ishida<sup>\*1</sup>, Ko Arai<sup>\*2</sup>

\*1, International University of Health and Welfare, Akasaka Faculty of Psychology and Healthcare Management

\*2 Hitotsubashi University Graduate School of Business Administration

This study aims to clarify the organizational characteristics of the inclusion of Healthcare Information Technologist in the information management of business administration in hospital. Samples were selected from a questionnaire survey conducted in August and September 2020 on hospital management healthcare corporations, and a comparative analysis of the following items was conducted: organization size, type of beds, organizational structure, human resource skills, and information systems.

The results showed that 24 (13%) of the 181 cases included Healthcare information technologist, the average size of the organization was 164 beds, the average number of employees was 335, and office workers was 41. All 24 had a department in charge of information management of business administration, and the average number of departments in charge was 4.6 (overall average 3.7).

The most common human resource skills were "Health Information Manager" (18), "Accounting/Finance" (17), "Bookkeeping" (15), "Office Manager" (14), "National Qualification in Medical/Welfare" (12), "Department Head" (10), and the average number of skills was 4.8 (overall average 2.8).

As for information systems, 21 respondents (88%) said they had an electronic medical record (EMR)/order entry system (OS), 12 (50%) had a database(DB)/data warehouse (DWH), 9 (38%) had a business intelligence tool (BI), and 23 (98%) had groupware (GW), and the oldest were EMR/OS 2003, DB/DWH 1995, BI 2006, and GW 2003.

**Keywords:** Healthcare Information Technologist, Information Management, Hospital Administration

### 1. 目的

医療情報技師は、医療機関での情報システムの運用・管理に関する専門職種として位置づけられている。たとえば「医療機関における情報システムの運用・管理に携わる人材に関する実態調査報告書」(2015)によれば、調査回答施設のうち約 3 割に医療情報技師が所属している。また病床規模別では、200 床未満は 18%、200～500 床は 44%、500 床以上では 76%に所属があり、規模が大きくなるにつれて資格保有者が増える傾向が明らかになっている。

一方で、医療情報技師の関与は情報システムの運用・管理に限定されるものではない。特に広く医療機関に存在するデータを集め、情報・指標として提供する情報マネジメントにおいても人材の関与が想定される。

本研究では、特に病院における「経営情報マネジメント」、すなわち病院の経営意志決定に資する情報を提供する情報マネジメントにおいて、医療情報技師を含む場合の組織的特徴を明らかにするものである。

### 2. 方法

2020 年 8-9 月、病院経営医療法人(事業規模 10 億円以上)を対象にした「病院の経営情報に関する意識調査」と題するアンケート調査において、「経営情報を担当している人材の能力・資格・研修等で、現に保有(経験)している、または習得中であるもの(複数回答可)」についての設問を行った。

この回答より医療情報技師資格ありの標本を抽出し、組織規模、病床種類、組織体制、人材スキル、情報システムの各項目の全体との比較分析を行った。

なおアンケート調査回収の概要は、質問票送付 3248 法人、うち宛先不明や返送などの未達 17 通を除く、全発送数 3231 通、回収は質問票用紙の郵送による回答 126 件、

Web アンケートフォーム経由の回答 55 件、計 181 件の回答を得た。このうち全件を有効回答数として回収率は 5.6%であった。

### 3. 結果

結果、設問で医療情報技師資格ありと回答した群(以下、医療情報技師回答群)は、アンケート有効回答数全 181 件中 24 件(13%)であった。

#### 3.1 組織規模・病床種類の特徴

アンケート調査全体の組織規模は、平均病床数 158 床(中央値 140 床)、平均従業員数 264 人(中央値 210 人)、平均事務員数 30 人(中央値 20 人)であった。

一方で、24 件の医療情報技師回答群の組織規模は、平均病床数 164 床(中央値 115 床)、平均従業員数 335 人(中央値 230 人)、平均事務員数 41 人(中央値 28 人)となり、全体と比較して病床規模は同程度であるが、従業員数・事務員数が多い特徴が観察された。

また回答施設の病床種類の分布は、一般型 56 施設(33.3%)、ケアミックス 69 施設(41.1%)、療養型 21 施設(12.5%)、精神型 22 施設(13.1%)、他種類不明が 13 施設(7.1%)であった。

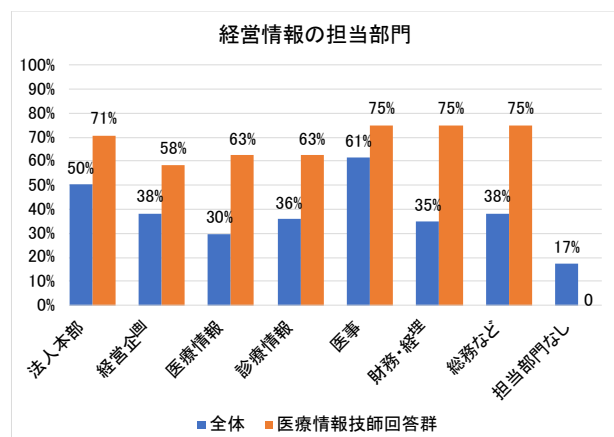
これに対して医療情報技師回答群では、一般型 8 施設(33.3%)、ケアミックス 10 施設(41.6%)、療養型 3 施設(12.5%)、精神型なし(0%)、他種類不明 3 施設(12.5%)となり、一般型・ケアミックス・療養型の配分はほぼアンケート調査全体の分布と一致し、精神型は観察されなかった。

#### 3.2 組織体制の特徴

「経営情報を集める・編集する部門」の設問では、1 つ以上の担当部門の設置があると回答したものは、全体では 150 件(83%)であった。

一方で医療情報技師資格ありの 24 件全てにおいて、何らかの経営情報の担当部門の設置があった。

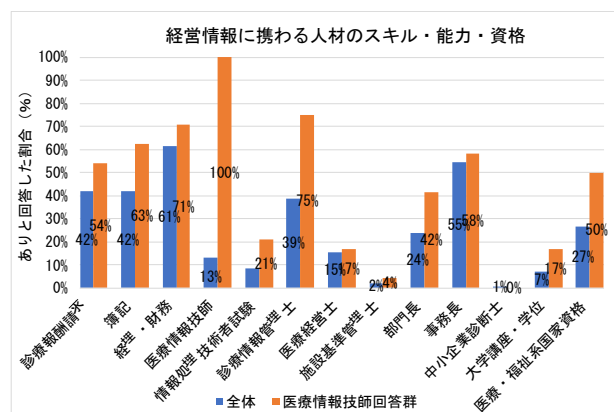
また施設毎の部門の関与数を計算すると、平均 4.6 部門(全体平均では 3.7 部門)であった。



### 3.3 人材スキルの特徴

「経営情報を担当している人材の能力・資格・研修等」について、全体では多い順に「財務・経理の実務経験」111 件(61%)、「事務長の実務経験および病院経営管理士」99 件(55%)、「診療報酬請求事務能力検定」76 件(42%)、「簿記検定」76 件(42%)、「診療情報管理士」70 件(39%)であった。

医療情報技師回答群では、「診療情報管理士」18 件(75%)が最も多く、続いて「経理・財務」17 件(71%)、「簿記」15 件(63%)、「事務長」14 件(58%)、「医療・福祉系国家資格」12 件(50%)、「部門長」10 件(41%)の順であった。また 1 施設当たりの平均スキル数を計算すると、平均 4.8 個(全体平均では 2.8 個)であった。

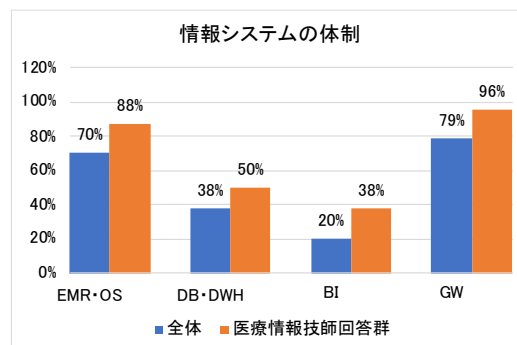


### 3.4 情報システムの特徴

情報システムについて、全体での電子カルテシステム・オーダーエントリーシステム(EMR・OS)ありの回答は 127 件(70%)、データベース・データウェアハウス(DB・DWH)は 69 件(38%)、ビジネス・インテリジェンスツール(BI)は 37 件(20%)、グループウェア(GW)は 143 件(79%)であった。

医療情報技師回答群では、「EMR・OS あり」21 件(88%)、「DB・DWH あり」12 件(50%)、「BI あり」9 件(38%)、「GW あり」23 件(98%)となり、全ての情報システムにおいてありの回答割合が高まっていた。

情報システムの導入時期は最古で EMR・OS 2003 年、DB・DWH 1995 年、BI 2006 年、GW 2003 年であった。



## 4. 考察

今回の分析では、経営情報マネジメントにおいて医療情報技師を含む組織は、まず組織規模に対して人員や情報システム整備が進んでいる傾向があった。この上で経営情報において何らかの担当部門の設置、さらに関連部門数が多くなる傾向が認められた。この点から、経営情報マネジメントの組織的な取り組みとして行い、その中に医療情報技師資格保有者を含んでいることが考えられる。

また医療情報技師回答群の人材スキルの特徴に着目すると、医療情報技師の専門性である情報スキルに加えて、会計、医療、マネジメントスキルなど複数スキルを含んでおり、これらが全体と比較しても多い傾向が認められた。

河村らによれば、病院の情報システムは横断的に全病院業務に関与し、診療および経営に関わるあらゆるデータが集約されるために、経営管理支援、運営評価支援など高度の情報戦略部門としての位置付けを示している。またこの場での医療情報技師は、「病院管理や経営管理的な知識と思考能力が必要とされる。」とある。

よって、今回の分析では医療情報技師の専門性である情報スキルにとどまることなく、多部門連携に対応する人材スキル体制が観察されたのではないかと考えられる。

## 5. 結語

医療情報技師資格から見た経営情報マネジメントは、当然ながら医療情報技師の専門技能である情報システムの運用・管理を前提としている。一方で、何らかの担当部門が関与することや、情報スキルにとどまらない複数の人材スキルが確認されることから、多部門連携を中心とした複数の人材スキルを持つ組織的な活動になっていることが考えられる。

## 参考文献

- 1) 医療機関における情報システムの運用・管理に携わる人材に関する実態調査報告書. 日本医療情報学会, 一般財団法人医療情報システム開発センター, 2015.
- 2) 河村徹郎, 橋本則男, 石川澄. 医療の IT 化を担う新しい専門職「医療情報技師」. 医療情報学 2003 ; 23 (5) :431-440